

ツアー番号
LKJB9RQ38J

アドベント・セイロン（13日間）

13日間・12泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この13日間のプライベートツアーは、専任のシャフェールガイドが運転し、スリランカの西海岸から文化三角地帯へ、丘陵地帯を上り、南部の野生動物公園とレインフォレストを下り、南海岸のビーチへと向かいます。ネゴンボで始まり、アヌラーダプラ、アヴカナ、ダンブッラ、シギリヤ、ポロンナルワを経由するルートをたどります。ここでは古代の都、洞窟寺院、王族の遺跡がスリランカの数百年の歴史を物語っています。

文化三角地帯からのルートはキャンディとヌワラ・エリヤへと上り、茶畑の国、植民地時代の町並み、聖歯寺院を巡り、その後エッラの丘を南に下ってウダワラウェ国立公園の野生動物とシンハラジャのレインフォレストを訪れます。最後の数日間はベントタ周辺の南西海岸で過ごし、ガル・フォートとマドゥ川を訪問してから、空港へ向かう際にコロンボをもう一度眺めます。

旅行者は1回のツアーでスリランカを広く体験することができます。考古学的遺跡、丘陵地帯の景色、国立公園のサファリ、レインフォレストハイキング、ウミガメの孵化場、歴史的な砦の町、ビーチでのんびり過ごす時間など、すべてが道路で結ばれており、地域間の移動手段を別途手配する必要がありません。



日程詳細

1日目 空港 → ネゴンボ

ツアーは西海岸のネゴンボのビーチから始まり、滞在に慣れながら地元のウォータースポーツを楽しむ時間となります。



ネゴンボ・ビーチ

ネゴンボの砂浜で過ごし、昔から続く地元の漁業の様子を見学します。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ウォータースポーツ

サンゴや海中生物を見るダイビングをはじめとするウォータースポーツを体験します。沿岸にはおよそ50年前に沈んだ難破船があり、今では多くの魚の生息地となっています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

2日目 ネゴンボ → パンドゥワスヌワラ → アヌラーダプラ

この日は内陸へと向かい、あまり知られていない12世紀の王国から古代都市アヌラーダプラまで、スリランカの王朝史をたどりながら2つの旧都を訪れます。



パンドゥワスヌワラ

短命に終わった12世紀の首都の遺跡を探索します。仏塔や仏像堂、集会場、城塞跡に加え、城壁の外には復元された旧仏歯寺や旧王宮跡もあります。

L Manju · CC BY-SA 4.0



アヌラーダプラ

千年以上にわたり首都として栄えた遺跡の都市を歩き、ジェータヴァナ・ダーガバ、スリー・マハー・ボーディ(聖菩提樹)、アバヤギリ僧院遺跡、そしてルワンウェリサーヤやトゥーパーラーマの仏塔を見学します。

Thisaru Tharuka · CC BY-SA 4.0

3日目 アヌラーダプラ → アウカナ → ダンブッラ

この先は有名な立像仏を経て、ダンブッラの石窟寺院へと続きます。



アウカナ仏像

一枚岩から彫られた高さ40フィートの立像仏を見学します。背面の薄い支柱だけで支えられており、近くには仏像堂があった跡を示す半壊した建造物も残っています。

Carlos Delgado · CC BY-SA 4.0



ダンブッラの黄金寺院

紀元前1世紀に遡る石窟寺院に入り、仏陀の生涯を描いた古代の壁画や、5つの主要な洞窟に点在する何百もの仏像・神像を見学します。「神王の洞窟」や「大王の洞窟」もあり、近くには巨大な黄金の仏像があります。

Lankapic · CC BY 2.5

4日目 ダンブッラ → シギリヤ → ポロンナルワ → ダンブッラ

この日は島内で最も重要な古代遺跡の2つ、岩山要塞シギリヤと旧都ポロンナルワを探索します。



シギリヤ・ロック・フォートレス

カーシャパ王によって築かれた5世紀の岩山要塞を登り、ライオンの爪の形をした入口を通過し、有名な壁画を眺めながら、階段状の庭園や古代の貯水槽を抜けて頂上の王宮跡へと進みます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



ポロンナルワ

10世紀から13世紀にかけて繁栄したスリランカの第二の古都の遺跡を歩き、ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮池、ランカティラカ寺院、そしてパラークラマバーフ王にゆかりのある像を見学します。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

5日目 ダンブッラ → マータレー → キャンディ

この日はマータレーのスパイス産地を通ってキャンディへと向かい、スパイスガーデン、仏歯寺、そして夜の伝統舞踊ショーを楽しみます。



スパイス&ハーブガーデン

マータレー近郊のスパイス&ハーブガーデンを訪れ、スリランカのスパイスやハーブ、アーユルヴェーダの活用法について学びます。熱帯気候のおかげで植物は原種に近い姿を保っています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



仏歯寺

仏陀の聖なる歯の遺物を祀るため16世紀に建てられたこの世界遺産を訪れ、彩色された広間や彫刻が施された柱を見学します。

A.Savin · FAL



キャンディ伝統舞踊ショー

炎の舞や剣舞、キャンディアン・ドラマーによる演奏を含む、1時間にわたるスリランカ伝統舞踊と音楽のパフォーマンスを観賞します。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

6日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

道はティー・カントリーへと登り、かつての英国統治時代の高原避暑地ヌワラエリヤへと続きます。

紅茶工場とプランテーション

現役の紅茶工場とプランテーションを訪れ、セイロンティーの製造工程を見学します。この伝統は1850年代、ジェームズ・テイラーがキャンディ近郊のルーレコンデラ農園で商業的な茶栽培を始めたことに始まります。



ヌワラエリヤ

コテージや古い別荘が並ぶ、かつての英国統治時代の高原避暑地の街並みを歩き、赤レンガの郵便局を訪れ、ビクトリア女王公園やグレゴリー湖のほとりでくつろぎます。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

7日目 ヌワラエリヤ → エラ → ウダワラウェ

旅はエラの丘陵地帯の景観を抜け、南のウダワラウェへと続きます。



エラ

茶畑や岩の多い地形を通り抜け、リトル・アダムス・ピークの景色を眺め、ナイン・アーチ・ブリッジを歩いて渡り、特徴的なループ線を持つデモダラ駅で終わります。

Dan arndt · CC BY-SA 4.0

8日目 ウダワラウェ

この日はウダワラウェ国立公園での野生動物観察に丸一日を充てます。



ウダワラウェ国立公園

1970年代に野生動物保護区として設立された公園の沼地、森林、草原を3時間かけてサファリで巡ります。水鳥やスリランカゾウをはじめ、その他の哺乳類、爬虫類、蝶などで知られています。

AntanO · CC BY-SA 4.0

9日目 ウダワラウェ → シンハラージャ → ベントータ

この先はスリランカに残る最大の熱帯雨林を通り、途中でウミガメの保護施設に立ち寄りながら南西海岸のベントータへと至ります。



シンハラージャ森林保護区

世界遺産に登録されたこの熱帯雨林をジャングルウォークで巡ります。密集した常緑植物や猿、色鮮やかな鳥たちが見られ、茂みの中でグリーンピットバイパーに出会えることもあります。

Dan Lundberg · CC BY-SA 2.0



コスゴダ・ウミガメ保護センター

スリランカの海岸に産卵する絶滅危惧種のウミガメについて学び、保護センターの保全活動について知ります。赤ちゃんウミガメや保護されている傷ついた成体のウミガメを見たり、触れたり、餌をあげたりすることができます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

10日目 ベントータ

スリランカのビーチの一つで自由に過ごす一日です。



ベントータ・ビーチ

一日中ビーチで過ごし、夕日を眺めたり、産卵のために上陸するウミガメを観察したり、ジェットスキーやウィンドサーフィンなどのウォータースポーツを楽しんだりします。

Vincent van Zeijst · CC BY-SA 3.0

11日目 ベントータ → ガッレ → バラピティヤ → ベントータ

この日は歴史ある要塞都市ガッレと、マドゥ川でのボートツアーを組み合わせ、再びベントータへ戻ります。



ガッレ要塞

ポルトガルとオランダによって築かれた要塞を探索します。アジアで最も保存状態の良い要塞の一つで、博物館や灯台、オランダ語の名前が残る石畳の通りがあります。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0



マドゥ川ボートツアー

マングローブが連なるマドゥ川の水路をボートで巡り、日光浴するワニやオオトカゲを観察します。シナモンが収穫される小さな島を訪れ、フィッシュマッサージも体験します。

SUPindia · CC BY-SA 4.0

12日目 ベントータ → コロンボ

ツアーの最後は首都コロンボを巡り、歴史的な名所と現代的な見どころの両方を楽しみます。



コロンボ市内観光

オールド・ライトハウス、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館といった歴史的名所を訪れ、独立記念広場やレース・コース周辺でショッピングを楽しむ時間もあります。

Gihanud2001 · CC0

13日目 コロンボ → 空港

朝食後、チェックアウトして空港へ向かい、出発となります。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.